

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の事業効果(水位計・河川監視カメラ)

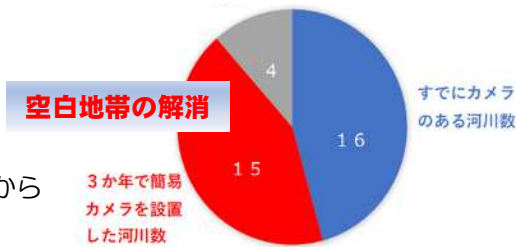
従来の水位計や河川監視カメラに加え、危機管理型水位計と簡易型監視カメラを3か年緊急対策で設置し、河川情報の空白地帯の解消を図りました。

住民により身近な河川の水位情報等を提供することで、大雨時における河川への関心が高まり、適切な避難判断を促すこととなり、地域の安全性向上が図られました。

県全体の設置数

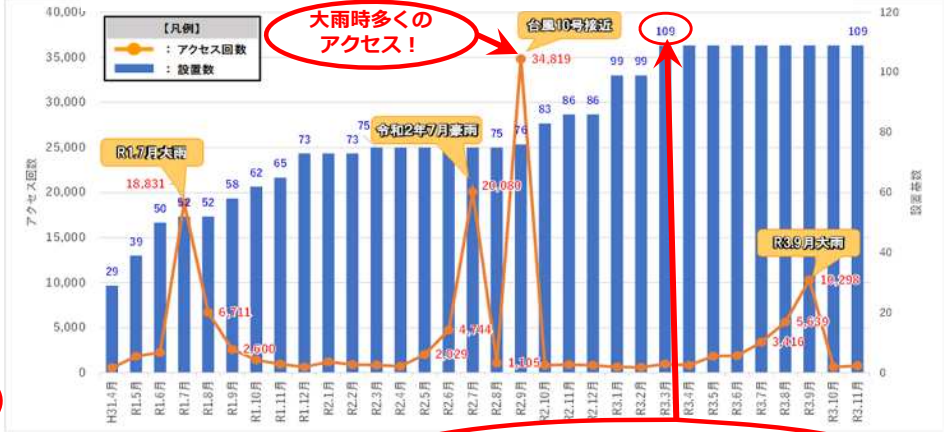
- 雨量計：168箇所
- 水位計：133箇所
- 河川監視カメラ：63箇所
- 危機管理型水位計：109箇所
- 簡易型河川監視カメラ：84箇所

洪水浸水想定区域図のある35河川において河川状況を画像で確認できる河川数(16河川→31河川)

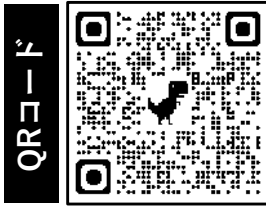


簡易カメラの設置で、9割の河川で状況を画像で確認可能に。

危機管理型水位計設置箇所数とアクセス件数の推移



危機管理型水位計の設置で、重要水防箇所のある河川における水位計設置割合が3割→6割に拡大。



こちらのQRコードからアクセスできます

県が公開している雨量・河川水位観測情報: 県のHPで公開

宮崎県の雨量・河川水位観測情報

雨量観測情報: 画面イメージをクリックすると目的の画面を表示します。

水位観測情報: 画面イメージをクリックすると目的の画面を表示します。

監視カメラ: 画面イメージをクリックすると目的の画面を表示します。

監視カメラ

危機管理型水位計

クリック!!

クリック!!

